
ASIA WOMEN LEADERS Interview

Dr. Ethel Agnes Pascua-Valenzuela

Director, SEAMEO Secretariat, Bangkok, Thailand

1.現在、ASEAN の教育分野で力を入れている取り組みについて、具体的にどのようなことを行っているのか、また、どのような方向に向かっているのかを教えてください。

お招きいただき、ありがとうございます。まず、SEAMEO についてご紹介したいと思います。SEAMEO は、11 の加盟国、8 つのアソシエイト、アフィリエイトのメンバーで構成される政府間組織です。26 のセンターがあります。私たちは、東南アジアの生活の質を向上させるために、地域の理解、協力、科学と文化の教育を強化するための主導的な組織となることをビジョンとして掲げています。ですから、私は SEAMEO の理事として、この地域の人々の発展のために、私たちの仕事と願望を維持することを心がけています。まず、教育問題、特に COVID-19 の大流行の影響によって拡大した不平等を解決する必要があります。SEAMEO が能力開発、人的資本開発、あるいは人材開発に比重を置いていることは承知しています。知識集約型経済や、デジタル化時代、グローバル化した環境下で必要とされるスキルに役立てていきたい

2.最も印象に残ったエピソードがあればお聞かせください。

パンデミックにあるこの 3 年間のプロセスで最も良かったことは、SEAMEO のどこに居たのかということを確認することができたことです。パンデミック中に閉鎖された中で、2021 年から 2030 年までの SEAMEO 戦略計画を策定することができました。Zoom、WebX、その他多くの既存のチャンネルやプラットフォームを活用し、コンサルティングを行ったんです。2021 年から 2025 年までの SEAMEO 統合運営計画を行うことができました。これに関して、私たちは、新しいロードマップが教育大臣によって採択されたこのプロセスの中にいます。次の 10 年間で、目標、戦略的テーマ、運営目標を詳述し、また、科学と文化の教育におけるコアバリュー、コア・コンピテンシー、優先分野を再定義しています。パンデミックは、SEAMEO 事務局、SEAMEO センター、そして我々のパートナーを止めることはなかった。我々は、パンデミック中に与えられたすべての課題だけでなく、機会についても、大きなスタートに向けて前進した。この戦略計画は、教育、科学、文化の 3 つの課題を掲げており、この地域のすべての加盟国に対して、優先順位をつけ、資源を動員し、戦略を立てることができるのである。

3.ASEAN の教育に対する活動の成果と、現在直面している問題についてお聞かせください。

今、私が取り組んでいる問題とは何でしょうか。南東アジアを見てみましょう。現在、国連の最新の推計によると、人口は6億8000万人を超えています。その中で、1億4千万人の東南アジアの学習者の教育が途絶えています。これは、COVID-19の流行が始まって以来、2020年初めから学校が閉鎖されたためです。この地域のほとんどの国は、昨年の初めにすでに学校を再開しています。しかし、ご存知のように、学習には深刻な影響がありました。平均して、子どもたちはほぼ2日ごとに学校を休んでいます。ユネスコは、東アジア・太平洋地域の270万人の子どもたちが、学校が再開されても学校に戻らないと推定しています。これは、東南アジアを含む東アジア・太平洋地域で、すでに教育制度から脱落している3,500万人の子どもたちに加えてのことです。子どもたちが学校に行かないということは、この地域の私たちの問題でもあるのです。これらの子どもたちは、暴力、虐待、搾取を経験するリスクにさらされ、女の子は10代の妊娠や早婚というさらなるリスクにさらされることとなります。だからこそ、私たちは教育への障壁に対処する必要があります。パンデミック時の学習貧困や学習損失に対処する必要があります。そして、東南アジアのすべての国々が協力して、より良い教育を取り戻すべき場所なのです。

4.女性リーダーとして、あなたのキャリアに根強く残る問題は何ですか？

あなたが動き続ける原動力は何ですか？

私は教師ですが、30年以上にわたって、学習者、スタッフ、そして私たちの周りにいる人々のスキルやコンピテンシーが問題であると感じています。ですから、私としては、考え方を変える必要があると考えています。特に、生涯学習を推進する必要があります。だからこそ、東南アジアでの生涯学習は非常に重要なのです。私たちは、生涯学習教育を本当に支援する必要があります。幼児期から高等教育まで、そして生涯を通じてです。そこで、生涯学習に関する閣僚会議を開催したところ、東南アジアのほとんどの国が生涯学習社会を望んでいることがわかりました。それはどういうことでしょうか。この地域のすべての人が、生涯を通じて学び直す能力と興味を持つことです。大臣たちは、生涯学習の核となるのは人間であることを認識する必要があると提言しています。私たちは、適切で学習を中心とした政策や介入を開発できるように、学習者のニーズに取り組む必要があります。また、生涯学習を再構築し、変革する必要があります。生涯学習は退屈なものであってはならず、生涯を通じて新しいことを学んでいく幸せな活動であるべきです。そして、同じ共通の最終目的を持つパターンや組織と一緒にこれを行わなければなりません。

5.2030年、そして2030年までの8年間で、アジアの子どもたちに今後必要とされる教育について、まずアジアの教育で何が起こると予想されますか？何か根本的な転換があるのでしょうか？

実質的に、2030年までのSDGs2030達成までには、8年しかありません。そして、その7年プラスアルファの月日で、教育を変革する必要があります。私たちは、持続可能な成長に向けた未来の教育、教育における多様性、包括性、公平性への取り組みの重要性をより強調する必要があります。私たちの主要なプログラムやアジェンダは、質の高い、公平な教育

を推進し、持続可能な開発のための教育の概念を活用することです。これは、開発レベルに関係なく、東南アジアの国々に共通する政策です。私たちは、学習を変革する必要があります。私たちは、教育を変革する必要があります。私たちは教えることを変える必要があります。私たちは教師を変える必要があります。私たち全員が力を合わせれば、2030年にSDGsの目標を達成することができるのです。

6.私たちが行動や協力できることがあれば教えてください。ぜひ、ご意見をお聞かせください。

SEAMEOは、11の加盟国、準加盟国、そして26のセンターとネットワークとともに、持続可能な開発目標を共同で支援してきました。私たちは、パンデミック後の回復力のある復興において、教育における非国家主体、非政府組織など、すべてのパートナーが私たちと協力し、すべての人のための包括性と平等性を高めるために共に前進していくことを歓迎します。私たちは同じ目標や願望を共有しており、共通の目標を達成するために協力し合うことができると考えています。

7.財政的な制約がある中で、教育分野はどのように支援されるのか、また、アジアでの教育・学習方法に対する調整はあるのか、どのように予測されるのでしょうか。

私たちは皆、パンデミックから立ち上がりつつあることを知っています。しかし、パンデミックの最も困難な時期に、多くの資源が投入されたことも知っておく必要があります。官民のパートナーシップが生まれました。つまり、各国の資源や財源が限られていても、政府部門と非政府部門、そして非国家主体がリソースを結集して協力すれば、すべての人に包括的で公平な質の高い教育を提供することができるのです。だからこそ、私たちSEAMEOの教育大臣は、東南アジアのアイデンティティである文化や価値観と一致した形で教育や科学を変革するために、主要な教育関係者の協力とパートナーシップを強化する政策環境を共に作り上げることができると提言しているのです。私たちは、デジタル化された環境と、ほとんどの教師がすでにハイブリッド学習やブレンデッド学習に適応していることから、教師の能力開発を本当に支援することができるのです。限られた資源、オンラインという財源の制約があっても、進化し続ける世界の中で、未来の即戦力を育てることができるのだと思います。

8.欧米の教育システムとアジアの教育システムの橋渡しをし、質の格差をなくすには？

もし、西洋の教育システムと東南アジアの教育システムがあるならば、私たちはお互いから学ぶことが一番です。私たちは西洋の教育の優れた実践を学ぶことができ、彼らはまた、東南アジアの教育システムの優れた実践を学ぶことができます。良い事例を共有することによってのみ、私たちは調和を図り、質の格差を最小限に抑えることができるのです。このように、良い事例を共有しながらも、コピーペーストのような方法をとらないという文化は有用でしょう。そのため、ベンチマークを行い、東南アジア諸国と海外の北米やヨーロッパの大学との間で協力協定を締結します。これは東南アジアにとって有益なことです。このように、教育の国際化と高等教育の調和がSEAMEOの教育とアジェンダである。

9.私たちは、アジアを共により良くするために、2030年までに1,000人の第一線で活躍するアジアの女性リーダーが互いに協力し、協創できるプラットフォームを目指しています。AWLFへの応援メッセージをお願いします。

さて、最後に、1000人の女性リーダーが協力し合い、サポートし合えるようなプラットフォームを作られたことに、心からお祝いを申し上げます。これは非常に良いアジェンダです。東南アジアの女性リーダーが自信を持ち、他の女性リーダーから力を得ることができるようになるでしょう。AWLFのプラットフォームは、私たちにとって本当にベンチマークとなるものです。私たちは、このプラットフォームを支援し、活用することができます。これが前進の道だと思います。私たちはこれからも協力し合い、お互いをサポートし、コーチし、メンターとなれるような女性リーダーの数を増やし続けるべきです。おめでとうございます。



Ms. Ethel Agnes Pascua-Valenzuela

Director, SEAMEO Secretariat, Bangkok, Thailand

東南アジア教育大臣機構事務局（SEAMEO） 所長
エセル・アグネス・パスクア博士

現在、東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）事務局の局長であり、SEAMEO が 1965 年に組織されて以来最初の女性局長。2015 年 7 月から 2019 年 3 月まで、2006 年から 2015 年 6 月まで、SEAMEOINNOTECH の教育研究革新オフィスを率いた。SEAMEO に入社する前は、フィリピン高等教育委員会（1995-2006）の学生サービス局のディレクターIV および国際問題サービスのディレクターIII であり、外国および地方の奨学金プログラム、アカデミックモビリティ、および多国籍を担当。また、ユネスコ国家委員会教育委員会の副委員長を務めた（2000-2010）また、フィリピン大学とマニラのデラサール大学の教授講師。専門知識は、高等教育と多国籍教育、教師教育、代替学習、中等教育の国際化。一部の SEAMEO や、ユネスコ、ユニセフ、CHED、教育省などの他の国際機関向けに、国際および国内の記事、ジャーナル、テクニカルレポート、ガイドラインを発行。著名な研究成果には、フィリピンの高等教育ガイド（CHED）、K to 12Toolkit がある。品質保証、高等教育における相互承認（ユネスコパリ）、高等教育資格の認定のためのツールキット（ユネスコ BKK）、国立情報センター用ツールキット（ユネスコバンコク）、中等学校用 ESD ツールキット、フィリピンの高等教育の国際化（ユネスコ国内委員会）とフィリピンの高等教育の改革と発展。東南アジアの教育基準、東南アジアのマルチグレード品質指標等。東南アジアの K 対 12 の地域比較であり、エルゼビアロンドンの国際教育百科事典に掲載されている。デラサール大学で教育管理の教育博士号を、フィリピン普通大学で科学教育の修士号を、英語と一般科学を専攻する中等教育の学士号を取得。フィリピン政府のキャリアエグゼクティブサービスオフィサー（CESO IV）であり、Phi Lambda Theta Honor Society of Women Leaders inEducation や PhiDeltaKappa などのさまざまな国際的な専門家や学術団体のメンバーでもある。



Interviewer: Ai Sasaki, Chairman, Asian Women Leaders Forum/Article supported by Jenny